

糖尿病だとがんになりやすい？

●糖尿病のある方はない方と比べて、

全体で約 **1.2 倍** がんになりやすいと報告されています。

日本人男性で、胃がん	1.23 倍	膵臓がん	1.85 倍	日本人女性で、胃がん	1.61 倍
大腸がん	1.36 倍	腎臓がん	1.92 倍	肝臓がん	1.94 倍
肝臓がん	2.24 倍	前立腺がん	0.96 倍		

国内外のデータでは、糖尿病は肝臓がん、膵臓がん、大腸がんに加え、

乳がん 1.2 倍、子宮体がん 2.1 倍、膀胱がん 1.24 倍と、がん発生のリスク上昇に関連が見られました。

急な糖尿病発症の原因に膵臓がんが潜んでいる可能性があることもあります。

●なぜ糖尿病だとがんのリスクが高くなるのでしょうか？

- ①血液中のインスリン濃度が高いこと：2型糖尿病がある方の多くはインスリンが効きにくくなっているため、血中のインスリン濃度が高くなっています。
血液中の過剰なインスリンは、発がんに関与する可能性があると考えられています。
- ②血糖値が高いこと：高血糖による酸化ストレスが、発がんに関連する可能性があるといわれています。
- ③慢性的な炎症：糖尿病がある方は、無症状ですが全身に慢性的な炎症がみられることがあります。
慢性炎症は、発がんのリスクになると考えられています。

糖尿病がある方のがん発症リスクを下げるためには、第1に
血糖マネジメントを良好にすることが大切です。

適切な食事、適度な運動、体重管理、禁煙、禁酒は血糖マネジメントだけでなく、がん予防にも繋がります。



そして、がんは早期に発見し早期に治療することが大切です！！

当院では詳しい検査が可能ですので、

ご希望の方は主治医へご相談ください。

●当院でできるがん診断につながる検査●

血液検査・レントゲン・エコー

大腸カメラ・胃カメラ・CT・MRI など

知って得するカロリーチェック

●缶ビール 350ml
140Kcal
糖質：11g



●日本酒 1 合
約 180~200Kcal
糖質：8~9g